



コロナウイルスの相談窓口等の開設ができないか

[答] 町全体の部署が窓口であると心がけて対応していきたい

問 新型コロナウイルスの影響を受けた方々の給付金支援生活相談窓口等の開設できないか。



町長 町全体の部署で窓口をということを心がけて、懇切丁寧に対応していきたい。

問 本町が主体となって現在行われているコロナ対策に関連する支援にはどのようなものがあるか。

町長 町民生活支援策として

- ・「ひとり親世帯支援金、失業者臨時雇用、認可外保育園保育料減免」
- ・町内事業者支援策として「応援給付金、申請費用支援」
- ・地域経済活性化対策として「地域振興商品券の販売」
- ・高齢者支援策として「買い物支援、見守り訪問」
- ・教育支援策として「就学支援、学習支援員、作業療法士の配置」

など、町民の皆様へ漏れなく支援が行き届く事業の実施をしていく。

問 地域振興商品券の販売の期限は、いつまでを予定しているか。

産業振興課長 今から印刷等を行うため、これから1、2ヶ月後の1ヶ月間、理由は、期限を長く取ると利用者側からはいいと思うが、今困っている事業者の方に即効性がない。

以前のプレミアム商品券とは違って、期間を短くしてすぐ使って頂き、早めに景気が戻るように期間を短く設けようと予定している。



問 新型コロナウイルス感染予防対策に、防災行政無線はいかに有効活用できたか。

町長 アナウンスを通して町民が感染防止拡大の行動を取っていただいたと認識。

問 アナウンスの内容を問う。

町長 不要不急の外出を控え、手洗いとマスク着用を徹底する内容となっている。

問 アナウンスに対する町民の反応は。

町長 アナウンスすることによって安心するという意見。1日に3回(朝、昼、夕)も放送することへの苦言もあった。

問 不要不急の外出を控えるという行動の自粛が町民にどの程度伝わったかの検証は、今後、広報の参考になると考えるがどうか。

町長 どういった検証の仕方がいいか、検討していきたい。



バス停留所の時刻表について問う

問 バス停の時刻表の文字が小さく見づらい。夜間、バス停に電灯がついていない。文字、数字の書体や色、形など工夫した表示板や環境改善を関係機関に要請できないか。

町長 今後、沖縄県バス協会などの関係団体へ要望していく。



新型コロナウイルス対策、防災行政無線は有効活用できたか

[答] 感染拡大防止の行動を取っていただいた

QRコードを読み取ることで各議員の質問の様子を見ることができます。